学校番号	3032B

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	3	・Power On English Communication Ⅲ（東書） ・Data Base 3300

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語の 4 技能 5 領域である、聞くこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、読むこと、書くことに関する総合的学力をつける授業です。英語に親しみを持ち、様々な課題に積極的に取り組んで学習する姿勢が求められます。外国語の習得には授業時間だけでなく日常的な意識と努力がとても重要です。一年生よりもさらに発展的な英語にもチャレンジしてみましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・基本的な語彙と表現を使い、決まった表現で話された事柄についての概要を理解することができる。 ・授業内の指示を概ね理解することができる。 ・長い質問でも適切に聞きとることができる。	・基本的な語彙と表現を使用した日常生活の身近な英語の意味を理解することができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・２００語程度の英文の概要を理解することができる。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる身近な単語に加えてよくつかわれる単語発音できる。 ・英語を使った簡単なやり取りができる。 ・多様な事柄についてやり取りの中で簡単な説明をすることができる。	・基本的な語彙と表現を使い、日常生活や身近な話題に関するスピーチができる。 ・自分の興味関心を簡単な英語を使って表現できる。 ・多様な事柄について状況に応じた簡単な意見や印象を話すことができる。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる単語を正確に書くことができ、自らの書く文章に使用することができる。 ・多様な事柄についての短い文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音声、句読法、文法事項、語彙、慣用表現など、英語の決まりや特徴を理解習得して、これまでの学習成果を基本として、復讐を交えつつ、実際の場面に即して適切に運用する。	日常的な話題や社会的な話題に関して、与えられた情報・事柄の要点や話し手の意図を理解し、自分の考えや感想を、英語で適切に表現することができる。	日常的な話題や社会的な話題に関して、文化的背景を理解し、自分の意見や感想を交え、事柄の要点を理解し、自ら主体的に発話したり、対話したり、文章を作成することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson1 Library for the furture	聞くこと	a: 英語の発音の特徴を聞き取ることができる。 b: 本文についてのインタビューを聞き取ることができる。 c: 本文の全体説明を聞き取ることができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: フレーズリーデイングができる。 b: 本文の内容を読み取ることができる。 c: 様々な図書館について読み取ることができる。	評価なし
		話すこと（やり取り）	a:自己紹介の交流を行う。 b:図書館について話し合うことができる。 c:インタビュー形式の対話をやってみる。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a: 図書館について説明することができる。 b: 理想の図書館について発表することができる。 c: 発音や抑揚に気をつけながら図書館について発表しようとする。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 自己紹介英文を作成する。 b: プレゼンテーションのための原稿を作ることができる。 c: 文法やスペルに気を付けて作文しようとする。	評価なし
	中間考査			
	Lesson2 History maker Otani Shohei	聞くこと	a:大谷翔平ついての会話を聞き取ることができる。 b: 大谷翔平へのインタビューの内容を聞き取ることができる。 c: 聞き取った内容を表現につなげるためのメモをとる	評価なし
		読むこと	a: 大谷翔平の文を読み上げることができる。 b: 本文の内容について考え読みとることができる。 C: 大谷翔平の功績について意見を持ちながら本文を読むことができる。	単元テスト
		話すこと（やり取り）	a: 本文の内容をまとめた発表ができる。 b: 必要な情報を要約し、話し合うことができる。 c: インタビュー形式の対話をやってみる。	評価なし
		話すこと（発表）	a: 大谷翔平について説明することができる。 b: 大谷翔平の功績、仕事内容について発表することができる。 c: 発音や抑揚に気をつけながら大谷翔平について発表しようとする。	評価なし
		書くこと	a: 本文のまとめの発表原稿を作成することができる。 b: 話し合いを要約して発表原稿を作成することができる。 c: インタビュー形式内でのメンバーの発言の要約をする。	単元テスト
	期末考査			
後期	Lesson3 Zoo Dentists	聞くこと	a:本文の内容を聞き取ることができる。 b :インタビューの趣旨を聞き取ることができる。 c: 聞き取った内容を表現につなげるためのメモをとる	リスニングテスト
		読むこと	a: 本文の内容を読み上げることができる。 b: インタビューの趣旨を読みとることができる。 c: 自分の意見を持ちながら本文を読みとることができる。	評価なし
		話すこと（やり取り）	a: 本文の内容をまとめた発表ができる。 b: 必要な情報を要約し、話し合うことができる。 c: インタビュー形式の対話をやってみる。	評価なし
		話すこと（発表）	a: 動物歯科医について説明することができる。 b: 動物歯科医の活動、仕事内容について発表することができる。 c: 発音や抑揚に気をつけながら動物歯科医について発表しようとする。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 本文のまとめの発表原稿を作成することができる。 b: 話し合いを要約して発表原稿を作成することができる。 c: インタビュー形式内でのメンバーの発言の要約をする	単元テスト
	中間考査			
	Lesson4 Nature Photographer	聞くこと	a: 英語の発音の特徴を聞き取ることができる。 b: 本文の概要を聞き取ることができる。 c: 本文の全体説明を聞き取ることができる。	リスニングテスト

	in Alaska	読むこと	a: 正しい読み方でフレーズリーデイングができる。 b: 本文の内容を読み取ることができる。 c: 日本と海外に分けて要点と趣旨を読み取ることができる。	単元テスト
		話すこと（やり取り）	a: 正しく音読・伝えるための抑揚をつけることができる。 b:自然写真家について話し合うことができる。 c：松本紀生の写真について話し合うことができる。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a: 松本紀生の生涯について発表することができる。 b: 松本紀生の写真について発表することができる。 c: 発音や抑揚に気をつけながら自然写真家について発表しようとする。	プレゼンテーション
		書くこと	a:　本文のまとめの英文を書くことができる。 b: 自然写真家の記事をまとめて書くことができる。 c:松本野紀生の写真について自分の意見を作成できる。	単元テスト
	期末考査			
	Lesson5 A Science Award That Makes you laugh and then Think	聞くこと	a: 本文の内容を理解して聞くことができる。 b: 初対面のポイントについて聞き取ることができる。 c: 聞き取った内容を表現につなげるためのメモをとる	リスニングテスト
		読むこと	a: 本文の内容を読み上げることができる。 b: イグノーベル賞のポイントについて考え読みとることができる。 C: イグノーベル賞について意見を持ちながら本文を読む。	単元テスト
		話すこと（やり取り）	a: 概要をまとめて意見交換をすることができる b: 本文の内容をまとめて発表することができる。 c: その経緯と利点・可能性についての自分の意見を発表することができる。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a: イグノーベル賞について説明することができる。 b: 世界のあらゆるイグノーベル賞の受賞例ついて発表することができる。 c: 発音や抑揚に気をつけながら発表しようとする。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 概要説明のための原稿を作成する。 b: 本文の内容のまとめを作成する。 c: その経緯と利点・可能性についての自分の意見の発表原稿をつくる	単元テスト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度